

琉球大学学術リポジトリ

シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 (ハチ目, ギングチバチ科)
の与那国島からの初記録

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2022-09-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井藤, 竜大, 河野, 太祐 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002019453



シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 (ハチ目, ギングチバチ科) の与那国島からの初記録

井藤竜大^{1,2}・河野太祐³

¹ 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 (外来研究員)

² 通信著者 (ryudai1024flatwasp@kcn.jp)

³ 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学総合研究博物館

要旨．ギングチバチ科のシロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 を与那国島から記録した．本種はこれまで西表島と石垣島からのみ記録されており，与那国島からは初記録となる．

記録

Cerceris lauta Yamane & Tano, 1995
シロスジツチスガリ
(図 1)

はじめに

シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 はギングチバチ科ツチスガリ属 *Cerceris* に属する，体長 10 mm 程度のハチ目の一種である．本種は日本および台湾産の同属他種からは，1) 体の明色斑紋は白からクリーム色であること，2) 腹部第 1 節は柄状であること，3) 腹部第 2 腹板基部の隆起台 (プラットフォーム) は不明瞭であること，4) 雌の頭盾は先端に 5 歯を有し，前方に突出した付属物があることにより区別される (Kawano & Yamane 2014)．

本種は八重山諸島の西表島から記載され (Yamane & Tano 1995)，その後，石垣島からも記録されたが (Kawano & Yamane 2014)，与那国島からの記録はない．今回，筆者らは与那国島より本種の雄を多数確認したため，ここに報告する．

材料と方法

採集されたシロスジツチスガリは 80% エタノールで保存した後，乾燥標本とした．標本の検鏡および同定には SL-40N 実体顕微鏡 (ビクセン株式会社) および SZX-10 (オリンパス株式会社) を使用した．標本の撮影は，河野ら (2021) と同じ手法を用いたが，レンズは MP-E 65mm 1 : 2.8 1-5x マクロレンズ (キヤノン株式会社) を使用した．形態用語は寺山・須田 (2016) に依った．本報告に使用した標本は全て，大阪市立自然史博物館 (OMNH) および九州大学農学部昆虫学教室 (ELKU) に収蔵される．

検視標本．5♂, 29. III. 2020, 沖縄県八重山郡与那国町 満田原森林公園 (24.4582°N, 122.9754°E; ca. 90 m alt.)，井藤竜大採集 (4♂, OMNH; 1♂, ELKU); 2♂, 30. III. 2020, 沖縄県八重山郡与那国町 (24.4568°N, 123.0071°E; ca. 65 m alt.)，井藤竜大採集 (1♂, OMNH; 1♂, ELKU); 2♂, 30. III. 2020, 沖縄県八重山郡与那国町 久部良岳 (24.4575°N, 122.9655°E; ca. 120 m alt.)，井藤竜大採集 (1♂, OMNH; 1♂, ELKU)．

生態的知見．今回得られた個体は，いずれも薄暗い環境や時間帯に得られた．3 月 29 日に得られた個体は，午前 10 時から 12 時頃，曇天の中，林道脇のセンダングサ類や，湿った照葉樹林内の下草のスウィーピングにおいて採集された．また，翌 30 日に採集された個体も全て薄暗い林内で得られた．

琉球列島に分布する同属他種であるナガセツチスガリ *C. yuwanensis* Tsuneki, 1982，キマダラツチスガリ *C. xanthosoma* Yamane & Tano, 1995，ハナダカツチスガリ *C. tomiyamai* Yamane & Tano, 1995 も薄暗い天候 (曇天や小雨時) に得られており (Watanabe & Okajima 2010; 河野・渡辺 2015; 渡辺・瑤寺 2016)，今回の採集例においても，曇天や，林内の薄暗い環境で得られたことから，本種も同様に薄暮時や薄暮環境において活発に活動する可能性がある．なお，西表島ではショウベンノキ *Turpinia ternata* Nakai (ミツバウツギ科)，石垣島ではノブドウ *Ampelopsis brevipedunculata* Trautv. (ブドウ科) への訪花が確認されている (Kawano & Yamane 2014)．また，今回得られた個体は全て雄であったため，発生初期だったか，雌は活発に活動しない状況であった可能性が考えられる．

備考．今回得られた個体を Kawano & Yamane (2014) による記載および同論文で使用された西

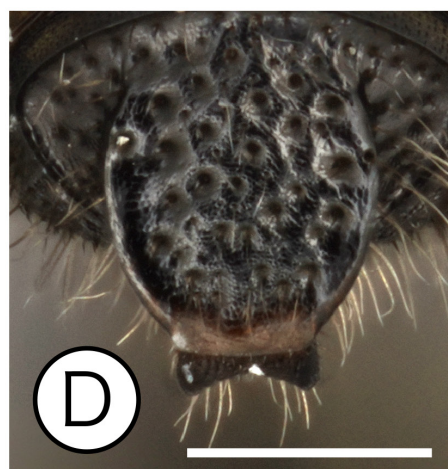


図 1. 与那国島産シロスジツチスガリ ♂. A, 側面; B, 背面; C, 頭部正面; D, 腹部末端節背板. スケールバーは 1 mm を示す.

Fig. 1. *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 ♂ from Yonaguni Island, the Ryukyus, Japan. A, habitus lateral view; B, habitus dorsal view; C, head front view; D, pygidial plate. Scale bars indicate 1 mm.

表島産の個体と比較したところ、与那国島産の個体は体の明色斑紋がやや退化する傾向が見られた。特に、石垣および西表島産の個体群は後胸背板全面が白色ないしはクリーム色であるのに対し、与那国島産の個体は左右端のみに明色斑紋が見られたほか(図1B)、前伸腹節にある一对の紋および、腹部の横帯についても退化する傾向にあった(図1A)。しかしながら、ツチスガリ属の分類形質として重視される、頭盾の形状(図1C)および腹部末端節背板(図1D)をはじめ、色彩以外の形質については石垣・西表島産との明瞭な違いは見いだされなかった。

なお、Kawano & Yamane (2014) の Figs. 3–6 において、3, male clypeus; 4, male pygidium; 5, female clypeus; 6, female pygidium となっているが、これは誤りで、正しくは3, female clypeus; 4, female pygidium; 5, male clypeus; 6, male pygidium である。

謝辞

現地調査に同行してくださった松元音旺氏(九州大学農学部)にお礼申し上げる。また、本報告をまとめるにあたり、大阪市立自然史博物館の設備を利用した。ご対応いただいた松本吏樹郎学芸員にお礼申し上げる。

引用文献

- Kawano, T. & Sk. Yamane, 2014. Discovery of the male of *Cerceris lauta* Yamane et Tano, 1995 (Hymenoptera: Crabronidae: Philanthinae) and redescription of the female. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 20(1): 151–153.
- 河野太祐・渡辺恭平, 2015. キマダラツチスガリとナガセツチスガリ(ハチ目, アナバチ科, フシダカバチ亜科)の奄美大島からの再発見. 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), (44): 95–98.
- 河野太祐・松元音旺・山根正気, 2021. 鹿児島県固有種, ナガセクロツチバチ *Liacos melanogaster* Tsuneki (ハチ目: ツチバチ科)の再発見. *Nature of Kagoshima*, 47: 399–401.
- 寺山守・須田博久 編著, 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. i-xxxvi+735 pp., 東海大学出版部, 平塚.
- Watanabe, K. & S. Okajima, 2010. Additional records of *Cerceris yuwanensis* Tsuneki (Hymenoptera, Philanthidae) from Tokunoshima Island, the north of Ryukyus, with first discovery of female. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 16(2): 195–196.

渡辺恭平・瑤寺裕, 2016. ハナダカツチスガリ *Cerceris tomiyamai* Sk. Yamane & Tano, 1995 (ハチ目, ギングチバチ科)の再発見と生息環境および訪花植物についての知見. *Fauna Ryukyuna*, 32: 1–4.

Yamane, Sk. & T. Tano, 1995. The Ryûkyû species of the genus *Cerceris* (Hymenoptera, Sphecoidea, Philanthidae). *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 1(1): 11–21.

A new record of *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 (Hymenoptera, Crabronidae) from Yonaguni Island, the Ryukyus Japan

Ryudai Ito^{1,2} & Taisuke Kawano³

¹Osaka Museum of Natural History (Guest Researcher), 1-23 Nagai-koen, Higashisumiyoshi-ku, Osaka 546-0034, Japan

²Corresponding author (ryudai1024flatwasp@kcn.jp)

³The Kyushu University Museum, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812-8581, Japan

Abstract. A crabronid wasp, *Cerceris lauta* Yamane & Tano, 1995 is recorded from Yonaguni Island, the Ryukyus, southern Japan. This species has been recorded only from Iriomote and Ishigaki Islands, and thus this is the first record from Yonaguni Island.

投稿日: 2022年2月15日

受理日: 2022年6月30日

発行日: 2022年9月16日